

アメリカ アラスカ州 パーマー高校 安宅 さん

留学期間 H3 0.8.15～R 1.5.30

1 留学の成果

①学業面

MAP テストという英語のテストを留学の始めと終わりに受けました。1学期のスコアはとても低く、アメリカ人の小学3年生レベルでしたが、最終学期にそのテストをうけたところ、スコアがアメリカ人の高校4年生の範囲内でした。自分の英語力の伸びを感じることができました。

②生活面

毎週金曜と土曜は私が晩ごはんを作る当番でした。おかげで自炊する大変さと楽しさを知ると同時に、日本食を振る舞ういい機会となりました。ホストファミリーは積極的に日本の食文化を取り入れ、私が作る日本食をどれもとても美味しいと言ってくれました。また、朝食と昼食も自分で準備していましたが、朝食と昼食は簡単なもので済ませるとい文化でしたので、あまり負担になりませんでした。ホストファミリーの家では個々に家事の役割があり、食器棚に皿を戻すことと洗面所の掃除が私の役割でした。また自分の部屋の掃除や洗濯物は自分で行っていましたので、一人暮らす力を養うことができ、家事を自身ですることによって親への感謝の気持ちと今後は家事を手伝おうという意識が芽生えました。

③世界観

実際にアメリカに住み、私の世界観は180度変わりました。日本で培った価値観が私の知る価値観全てであり、普遍的なものだと信じていましたが、日本様式の考え方は普遍的でなく、世界のほんのとても小さい小さな一部だと知ることができました。これにより日本とアメリカを客観視し、両国にさらなる興味を持つとともに、よりよい生活とはなにかをよく考えるようになりました。日本の素晴らしいところは学校生活がとても充実していることです。しかしながら、日本では「私達は食べ物に困ることもないし、日本で生まれたことはとても幸せだ」と謳っていますが、「物質的な豊かさ」に重きを置きすぎているあまり、内面的な、精神面での豊かさが疎かになっていると感じました。アメリカの個人を尊重する、他人を気にしないという文化により、今まで執拗に感じていたプレッシャーをあまり感じるものがなくなり、心の余裕が出来ました。これが自分を見直すきっかけとなりました。

④人生観

故国以外の生活を体験することのメリットは、実際に住むことにより、言葉よりもその感覚を直に感じることが出来ることです。留学する前、私は幸せだと信じて止まなかったのですが、留学することにより本質的な幸せについて考える機会が今まで乏しかったことに気づくことが出来ました。物質的な豊かさにおいて、私は幸福でしたが、心における幸せについて無知であったように思います。こういったものは、言葉で言うことは簡単ですが、本質から理解することは留学することでしか知りえないものだったと思います。今後の人生において将来国際的な仕事に就きたいと思っているので、アメリカで養ったグローバルな感覚を忘れないようにしたいです。

2 履修状況、課外活動等

(1) 履修科目

- ・代数 II
- ・読解 180
- ・Educators Rising (指導者育成)
- ・映画 (芸術)
- ・世界史
- ・アメリカ史
- ・アラスカ史
- ・バンド
- ・調理
- ・日本語 II
- ・国際バカロレア 日本語
- ・応援バンド

(2) 課外活動および受賞歴等

- ・Educators Rising の micro credential anti-bias instruction にて賞をもらう
- ・Educators Rising State Competition 児童文学部門にて2位を獲得 (タイトル : Welcome to Japan!)
- ・日本語コンテストのネイティブ部門にて1位を獲得
- ・高校生部門アラスカ日本語コンテストのネイティブ部門にて1位を獲得
- ・Educators Rising の一環として毎週木曜日に Sherrod Elementary School に行き、ティーチャーアシスタントをする。また、上記の Welcome to Japan!を読み聞かせを行う。
- ・Butte Elementary School にて day care をするとともに、Welcome to Japan!も読む
- ・Academy Charter で書道を教える
- ・Palmer High School で生徒のファイナルテストの一部として書道を教える
- ・Nihongo honor society にてゲストスピーカーとして The differences between Japan's and American Education system のスピーチを行う
- ・Yuki Festival にておにぎりをつくり、学校の日本語授業のための資金集めに協力する

3 今後の活動予定

プラン1

- ② 外国語大学に行き英語と日本語を学ぶ
- ② 卒業後海外に約2年間住み、日本語を学んでいる人々を助ける
- ③ 日本に戻り小中高校以外のところで日本語を学ぶ人々を助けるか通訳系の仕事につく
- ④ 世界中を旅する

プラン2

- ① 外国語大学に行き英語と日本語を学ぶ

②大学院に行き言語の研究をする

プラン3

- ① 外国語大学に行き英語と日本語を学ぶ
- ② 大学でまた新たな関心が見つかり、それに向かって努める

4 記録写真



パワーポイントを使いながら書道の基礎を教えました。生徒たちは興味津々で、アメリカ人に日本文化を教えるという面白い体験をすることが出来ました。

教育の大会では、アラスカ中の高校が集まりました。交流する機会が多くあり、お互いの作った作品を知ることが出来ました。



卒業式にて、アメリカの卒業の服を着る体験が出来ました。花束などもホストファミリーからいただき、とてもうれしかったです。

